

平成19年8月9日

高松市長 大西 秀人 殿

高松市牟礼地区地域審議会  
会長 濱川 憲博



合併基本計画に係る平成20年度から22年度の実施事業の  
取りまとめについて

盛夏の候 貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、平成19年6月11日付け高企第6号にて依頼のありました、合併基本計画に係る平成20年度から22年度の実施事業の取りまとめにつきましては、広く牟礼地区住民の意見を反映させるため、自治会や各種団体等を対象にアンケート調査を実施し、その調査結果を基に、本地域審議会として、次のとおり意見集約を図りました。

つきましては、まちづくり戦略計画（仮称）の策定に当たり、牟礼地区の意見反映について、格段の御配慮をいただきますようお願い申し上げます。

記

- 1 高齢者・障害者にやさしいまちづくり
  - ・高齢者や障害者の施設サービスの充実
  - ・高齢者の社会参加促進
  - ・在宅福祉サービスの充実
- 2 安全で安心して生活できるまちづくり
  - ・地域防災体制の充実
  - ・地域住民による防犯対策の充実、交通安全対策の充実
  - ・災害時の情報提供手段の整備
- 3 子どもたちを健やかに育てるまちづくり
  - ・安心して子育てができる社会づくり
  - ・子育て支援情報の発信
  - ・保育サービスの充実
  - ・子育て相談事業の拡充
- 4 人材を育み、人々がいきいきと元気に暮らせるまちづくり
  - ・地域資源としての人材活用
  - ・食育指導体制の充実
- 5 時代の変化に応える産業を育てるまちづくり
  - ・地場産業の振興、活性化
  - ・農業経営の合理化の促進
  - ・石材産業のブランド化と多角的用途への市場開発と転換
- 6 ふれあうコミュニティ形成を基礎としたまちづくり
  - ・地域コミュニティ協議会の組織づくり
  - ・地域コミュニティ活動の支援
- 7 利便性の高い交流基盤に支えられたまちづくり
  - ・屋島線（高橋）の整備

※事業内容は、別紙「合併基本計画に係る平成20年度から22年度の実施事業の取りまとめ調書」のとおりです。なお、参考資料として、アンケート調査結果報告書を添付します。

合併基本計画に係る平成20年度から  
22年度の実施事業の取りまとめ調書

平成19年8月

高松市牟礼地区地域審議会

## 合併基本計画に係る平成20年度～22年度の実施事業について

地区名：牟礼地区

施策分野	番 号	項 目	事 業 の 内 容
1. 高齢者・障害者にやさしいまちづくり	1-①	高齢者や障害者の施設サービスの充実	<p>いろいろな種類の施設が出来ていて、計画的に床数などが確保されていると聞きますが、現実には希望する施設に希望するときに入所するのは難しい状況にあります。</p> <p>利用者が適切に利用することも大切ですが、実態にあった状況を踏まえてサービス必要量を算定し、数字の上だけの充足ではない実質的な施設サービスの充実を進めていただきたい。</p>
	1-②	高齢者の社会参加促進	<p>今後、団塊世代が定年退職を迎え、地域に元気な高齢者が増えてくると予想されます。その智恵や経験を地域資源として活用していくため、現在あるシルバー人材センターの事業の中で高齢者助け合い事業や子育て支援事業への事業拡大を促していただきたい。</p> <p>また、現在、子育てに関しては、ファミリーサポート事業が始まり、その活動が注目されますが、ファミリーサポートシステムを高齢者を地域で支えるための事業など、子育て以外の分野でも登録会員が活動できるよう拡充していただきたい。</p>
	1-③	在宅福祉サービスの充実	<p>介護保険制度の原点は在宅介護にあります。高齢者が家族との絆を保ちつつ自宅を終の棲家として安心して余生をまっとうできるように在宅介護、訪問診療等の制度を充実するとともに、地域でも高齢者の生活をサポートし、支え合うシステムの構築が必要と考えます。公的サービスを含め、地域で高齢者を支援する関係者のネットワークづくりや家族関係の調整などを行い、在宅福祉の充実を図るため、地域包括支援センターや老人介護支援センターの機能の充実が必要と考えます。</p>
2. 安全で安心して生活できるまちづくり	2-①	地域防災体制の充実	<p>旧牟礼町では、小学校区毎に、毎年、町と地域住民、消防団、防災関係機関が参加し、総合防災訓練を実施してきましたが、合併後は、そのような総合防災訓練は実施されていません。災害発生時における防災活動を円滑に実施し、住民あげての防災行動力を向上させるため、市、防災関係機関、地域の自主防災組織が一体となった総合防災訓練の実施について検討していただきたい。</p> <p>また、災害時に地域住民が適切な避難ができるよう、危険箇所を掲載した防災マップづくりを促進するとともに、高齢者や障害者などの安全確保のため、総務省が推進する要援護者の避難支援プランの策定を積極的に進めていただきたい。</p>
	2-②	地域住民による防犯対策の充実、交通安全対策の充実	<p>牟礼地区では、子どもたちを犯罪から守るため、また、交通安全の観点から、校区青少年健全育成協議会が中心となり、立哨当番や下校時のパトロールを実施しています。最近では、地域の高齢者の協力も得られるようになり、地域住民による防犯体制は充実しつつあります。</p> <p>このような中、市は地域の自主的な防犯活動に対する支援として、腕章、パトロールベスト、防犯パンフレットなどの提供を行っています。このような地域住民による防犯活動をより活性化させるため、青色回転灯の購入や公用車の使用など防犯パトロール活動に対する支援をより充実させるとともに、防犯灯の増設等にも、なお一層の支援・協力をいただきたい。</p>

施策分野	番号	項目	事業の内容
	2-③	災害時の情報提供手段の整備	<p>災害時、牟礼地区では、支所から防災行政無線や広報車などにより地域住民に情報提供を行っていますが、防災行政無線の一般加入率（平成19年7月1日現在34.3%）が低いこと、また、屋外スピーカーは聞き取りにくいなど、効果的な情報伝達が行われているとは思えません。</p> <p>今後、地震、高潮、台風など災害が発生した場合、地域住民に避難勧告などの防災情報を効果的に周知するため、屋外スピーカーを増設し、防災行政無線システムの充実を図るとともに、FM高松や高松ケーブルテレビへ一括で放送できる総合装置の導入など、情報提供手段の整備充実を進めていただきたい。</p>
3. 子どもたちを健やかに育てるまちづくり	3-①	安心して子育てができる社会づくり	<p>「働きたくても育児に不安がある」ということをよく耳にします。次世代育成対策として厚生労働省が事業主に働きかけを行っていますが、育児休暇後も育児は延々と続きます。地域だけでなく企業の子育て支援への参加を働きかけていただくのはもとより、働く親を支援できる制度の強化が望まれます。保育所に病児、病後児保育事業がありますが、まだその数が少なく十分とはいえません。地域内の病院や施設等と連携し、利用しやすく、安心して働き出ることができるよう事業の充実を図っていただきたい。</p> <p>また、ファミリーサポート事業が始まり、期待されているところですが、まかせて会員に看護師や保育士などの専門家グループを作るなどして通院や看病など急な要望にも応えることのできる体制づくりを検討していただきたい。</p> <p>子育てに関する悩み相談等もいろいろなところに窓口があり心強く思いますが、電話で話す勇気のない親等に対し、携帯電話やパソコンからのメールによる相談窓口や情報交換ができる掲示板を設けていただきたい。</p>
	3-②	子育て支援情報の発信	<p>香川県子育て支援課や市のこども未来課では、NPO等との協働事業を含めいろいろな支援事業が繰り広げられていますが、その情報が十分にいきわたっているとは言えず、活用できていない状態です。また、地域で安心して子育てができる環境づくりをより進めるためにも、健診や相談事業など母子保健事業の機会等を利用し、行政の情報発信はもとより、子育て関連のNPOに事業に参加してもらい活動の紹介を行なうなど地域資源についても広く周知する機会を設け、関心のある人だけが情報を得ることができるのではなく、必要な人に必要な情報が届くよう、情報を整理し、その人にあった情報の発信ができるようにしていただきたい。</p>
	3-③	保育サービスの充実	<p>現在保育所と幼稚園の保育費用には差があり、大変疑問を感じます。保護者の所得により差がある現在の保育所の保育料について、経済的子育て支援サービスの強化として保育料のあり方を検討していただきたい。</p> <p>また、地域に子どもが少なく子ども同士で遊ばせることが難しいので、幼保一元化などにより、乳幼児でも、親が仕事をしていなくても保育サービスが受けられる制度の充実を図っていただきたい。</p> <p>子どもを持つ親の生活は多様化しています。休日や時間外に保育や子育て支援サービスを受けることができるよう保育所等での延長保育や児童館利用の時間延長の充実を図っていただきたい。</p>

施策分野	番号	項目	事業の内容
	3-④ (継続)	子育て相談事業の拡充	<p>児童虐待やDVについては、平成19年度に、こども未来課安全係を2名増員して対応していただいているが、過去に牟礼町で行なっていた子育て相談事業の状況からみると、行政に直接相談する件数より、子育て相談事業の電話相談によるものが多かった。</p> <p>地元民生児童委員などを中心に、虐待だけでなく子育て全般の相談を行なう場所として、牟礼、庵治を対象とする相談窓口を牟礼支所内に開設していただきたい。地域ごとの相談事業について、引き続き、前向きに検討いただきたい。</p>
4. 人材を育み、人々がいきいきと元気に暮らせるまちづくり	4-①	地域資源としての人材活用	<p>地域の中には多様な知識や技術、特技を持った人々がいます。現在も小学校の総合学習の時間に、こういう人たちに協力をお願いしていると聞いています。生涯学習センターには生涯学習情報提供コーナーがありますが、もっと身近な、郷土の歴史や文化を伝え世代間の交流を図り元気な地域づくりに役立てるような、そういう人々を地域の資源として登録し、誰でもが自分の能力を提供することができ、また、誰でもが情報を知り利用することができるような仕組みを作っていただきたい。</p>
	4-②	食育指導体制の充実	<p>牟礼地区内でも朝食をとらない子どもが大変多くなってきています。「食」は健康のみならず生きる上での基本であるといわれています。市長のマニフェストにもあるように、あらゆる機会を捉えての食育が望まれます。</p> <p>現在、高松市のホームページには、保健センターに食育コーナーがあり、教育委員会に「早寝早起き朝ごはん」のコーナーが、農林水産課にも食育のコーナーがあります。</p> <p>食育を知育・徳育・及び体育の基礎となるべきものと位置づけ、窓口を一つにし、関係各課やNPOと連携を図るためにも保健センター内に担当職員を確保し、全庁的な取り組みができる体制づくりをしていただきたい。</p>
5. 時代の変化に応える産業を育てるまちづくり	5-①	地場産業の振興、活性化	<p>牟礼地区の地場産業である石材業や窯業界などの後継者不足を解消するために、団塊世代の人々を含めた体験型ボランティアの育成や新たな事業展開を生み出すための異業種交流の場を提供するなど、支援策を充実していただきたい。</p> <p>また、農業、水産業、商工業が低迷している中、それぞれの分野への新技術・新事業創出に対する補助制度の拡充や販路開拓、人材育成、異分野進出、高松（自社）ブランドの育成への支援を推進するとともに、今後とも、国・県および関係機関との連携をさらに密にしながら、実効性のある施策の展開を図っていただきたい。</p>
	5-②	農業経営の合理化の促進	<p>農業離れ、後継者不足が急速に進む中、農地を集積し経営の大規模化を図る担い手農家の育成と多様化する消費者ニーズに対応した農産物の高品質化とブランド化による市場の拡大などの対策が必要となってきています。</p> <p>牟礼町の地域資源を生かし、担い手が、効率的・安定的な農業経営を確立できるよう、多様な経営支援策を最重要課題と位置づけ、支援体制の整備および支援活動の充実強化を計画的に図っていただきたい。</p> <p>また、遊休農地を有効利用する仕組みづくりや体験交流型農業施策などを推進していただきたい。</p>

施策分野	番号	項目	事業の内容
	5-③	石材産業のブランド化と多角的用途への市場開発と転換	<p>今年度、整備が予定されている房前公園（仮称）をはじめ、公園改修整備や河川、道路橋梁改修など、市において実施する公共事業については、グランド・スケープの思想を取り入れ、また、石材の廃材の有効利用について産官学連携による研究開発を進めるなど、新たな用途開発や販路拡大の支援に取り組んでいただきたい。</p> <p>また、石のフェスティバル事業やストーンフェア事業を石材業の振興やアーティスト・イン・レジデンス事業、交流人口の増大の視点から見直し、より効果的な事業として促進していただきたい。</p>
6. ふれあうコミュニティ形成を基礎としたまちづくり	6-①	地域コミュニティ協議会の組織づくり	<p>地域コミュニティ協議会の役割は、その地域の住民自治の主体となり、行政と協働して地域の課題を自ら解決していくことです。</p> <p>そのためには、これまでの自治会や地域に根ざした各種団体、NPOをネットワーク化するとともに、住民自治の中核としての代表性、民主性、公平性、公開性、機能性を備えた組織づくりを目指す必要があります。</p> <p>高松市は、地域コミュニティ協議会の適切な組織づくりを促進するとともに、協働推進に向けた力量形成への支援を充実させていただきたい。</p> <p>（詳細は、地域コミュニティの再構築についての意見書のとおり。）</p>
	6-②	地域コミュニティ活動の支援	<p>牟礼地区における地域コミュニティの再構築にあたり、市はコミュニティ政策の目的を明確化し、市民と共有する中で、政策の推進を図っていただきたい。</p> <p>（詳細は、地域コミュニティの再構築についての意見書のとおり。）</p>
7. 利便性の高い交流基盤に支えられたまちづくり	7-① (継続)	屋島線（高橋）の整備	<p>屋島線（高橋）の整備につきましては、平成19年度に交通量調査費の予算化を対応していただきましたが、屋島線（高橋）の整備は、牟礼町時代から懸案事項であり、高松東部の幹線道路として整備することにより、地域間交流が促進できるものです。</p> <p>したがって、引き続き、屋島線（高橋）の整備について、前向きな検討を進めていただきたい。</p>